取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

141210-01

はじめに

この度は、本製品をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

❑呼び方

呼び方	説明
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System, Microsoft® Windows® XP Professional Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98 Second Edition	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System

❑ マークの説明

注意
本製品を使う上で、注意するべきことが書かれています。

参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

著作権についてのご注意
あなたが本製品で記録したものには、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できないものがあります。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメディアの転送は、著作権法上の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

もくじ

安全にお使いいただくために 2

お使いになる前に 15
箱の中には 16
仕様 18
各部の名称 19
準備をする 21

使ってみる 27
カメラの電源を入／切する 28
日付／時刻を合わせる 29
撮影について 30
ムービーを撮る 31
写真を撮る 33
画質／解像度／撮影枚数について 35
セルフタイマーで撮る 36
高露出撮影機能 37
露出を固定する 38
ズームについて 39
近接（マクロ）撮影について 40
音声（ボイス）を録音する 41
ムービー／写真を再生する 42
MP3 データを再生する 47
データを消去する 50
メモリカードをフォーマットする 54
メニュー 55

パソコンに接続して使う 59
動作環境 60
使えるようにする 61
マススストレージモード／PC カメラ モード 68
MediaSink 70
Windows Messenger で使う 71
Ulead のソフトウェア 74
デジカメ 3D エディタ LE 76
Macintosh で使用する 77

困った時には 78
お問い合わせ 80
修理 82

安全にお使いいただくために

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。必ず記載事項をお守りください。

❑ 警告および注意事項

⚠	危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

❑ 絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。

この記号は禁止の行為を告げるものです。

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。

❏⚠危険 電池について

禁止

水・海水・醤油などで濡らさない

電池に組み込まれている保護機構が壊れると、異常な電流、電圧で電池が充電され、発熱、破裂、発火の原因となります。

厳守

電池は当社指定の充電器を使用するか、当社指定の充電条件を守る

その他の充電条件（指定以外の温度、指定以外の高い電圧／大きな電流、または改造した充電器など）で充電しますと、発熱、破裂、発火の原因となります。

禁止

電池は充電器を介さずに、直接電源コンセントや自動車のシガレットライターの指し込み口に接続しない

感電したり、高い電圧が加えられることによって、過大な電流が流れ、電池を漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

ストーブなどの熱源のそばに放置しない

発熱、破裂、発火の原因となります。

禁止

電池はプラス・マイナスの向きが決められています。充電器や機器に接続する時にうまくつながらない場合は無理に接続しない

プラス・マイナスを逆に接続すると、電池が逆に充電され、内部で異常な反応が起こり、電池を漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池は本製品以外に使用しない

電池は AVMC212 シリーズ専用です。指定機器以外の用途に使いますと、機器によっては異常な電流が流れたりして、電池が破損したり、発熱、破裂、発火の原因となります。

❑ ⚠危険　電池について

電池を分解したり、改造しない

電池には危険を防止するためのガス排出弁や保護機構が組み込まれています。これらを損なうと電池が発熱、破裂、発火の原因となります。

火のそばや炎天下駐車の車の中などでの充電はしない

高温になると危険を防止するための保護機構が働き充電出来なくなったり、保護機構が損傷し異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因となります。

❏ ⚠警告 電池について

厳守

使用機器及び電池は、乳幼児の手の届かないところに置く

不用意な取り扱いは危険を伴います。

禁止

火の中に投入したり、加熱しない

絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護機構を損傷するだけでなく、発熱、破裂、発火の原因となります。

厳守

電池をご使用の際は、次のことを厳守する

・電池の（＋）と（－）とを逆に使用しないこと。逆に充電された場合、電池内部の異常な化学反応を誘発する上､放電時は異常な電流が流れる可能性が有り､発熱､破裂､発火の原因となります。

・電池の（＋）と（－）とを金属で接続しないこと。またネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないこと。電池がショートし､過大な電流が流れ､発熱､破裂、発火したり、あるいはネックレス、ヘアピンなどが発熱する原因となります。

・電子レンジや高圧容器に入れないこと。急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして、発熱、破裂、発火の原因となります。

・強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないこと。電池に組み込まれている保護機構が損傷し、異常な電流、電圧で電池が充電される可能性があり、発熱、破裂、発火の原因となります。

・釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないこと。電池が変形、保護機構が破損する可能性があり、発熱、破裂、発火の原因となります。

・電池に直接ハンダ付けしないこと。熱により絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護機構が損傷し、発熱、破裂、発火の原因となります。

・乾電池などの電池や容量、種類、銘柄の違う電池を混ぜて使わないこと。使用中に過度に放電されたり、充電時に過度に充電されたりして、電池内部の異常な化学反応によって、発熱、破裂、発火の原因となります。

❑ ⚠警告 電池について

禁止

電池の使用、充電、保管時の異臭、漏液、発熱、変色、変形、その他今までと異なることに気が付いた時は、機器より取り出し使用しない

そのまま使用すると、電池が発熱、破裂、発火の原因となります。

厳守

電池が漏液したり異臭がする時には直ちに火気より遠ざける

漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因となります。

厳守

充電時、所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を停止する

電池が発熱、破裂、発火の原因になるおそれがあります。

厳守

電池が漏液して液が目に入った時は、こすらずに水道水などのきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受ける

放置すると液により、目に障害を与える原因となります。

❏ ⚠注意 電池について

厳守

電池を使用する前に、必ず取り扱い説明書または注意書きを読む

また、お読み頂いたあとは大切に保管し、必要な時にお読みください。

厳守

電池の充電方法については、本書をよく読む

厳守

電池をお買い上げ後、初めてご使用の場合に、サビや異臭、発熱、その他異常と思われたときは、使用しない

お買い上げの販売店にご持参ください。

禁止

直射日光の当たる場所、炎天下駐車の車内など、高い温度になる場所に放置しない

電池を漏液させる原因になるおそれがあります。

禁止

保護機構に損傷を与える可能性のある静電気が発生する場所で使用しない

危険防止のための保護機構が組み込まれています。保護機構がこわれ発熱、破裂、発火の原因になるおそれがあります。

厳守

常温（20℃±5℃）で使用する

低温下では使用時間が短くなります。低温下の使用では、電池の性能を十分発揮できません。できるだけ常温（20℃±5℃）でご使用ください。

厳守

電池は出荷前に若干量の充電をしてありますので、機器の動作確認にお使いください。動作確認が出来ない場合や、長時間の使用には、専用充電器で充電してからお使いください。

❏ ⚠注意　電池について

禁止

電池の充電温度範囲は次の通りです。この温度範囲以外での充電はしない

電池を発熱、破損させる原因になるおそれがあります。

充電：5℃～35℃

厳守

電池を長期間使用しない場合は、機器から外して湿気の少ないところに保管する

機器に接続したままや湿気の多いところに保管しないでください。

厳守

電池端子が汚れたら乾いた布で拭き、端子をきれいにしてから使用する

機器との接触が悪いと、電源が切れたり充電されなくなったりすることがあります。

禁止

長時間(1 日以上)の充電はしない

厳守

充放電する

長期間ご使用にならなかった電池は十分に充電されないことがあります。電池は長期間使用しない場合でも、1ヶ月に一度を目安に充放電を行ってください。

厳守

電池を小児が使用の際には、保護者の方が取扱説明書の内容を十分に教える

使用の途中においても、取扱説明書の方法で使用されているかどうかをご注意ください。

厳守

電池が漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流す

皮膚がかぶれたりする原因になるおそれがあります。

厳守

電池には寿命があります

十分に充電した電池で使用時間が著しく短くなってきた時は、電池の寿命です。指定の新しい電池をお買い求めください。なお、電池の寿命は使用状態などによっても異なります

❏ ⚠ 警告

本製品をパソコンで使用する場合は、ご使用のパソコンのメーカーが指示している警告、注意表示を厳守する

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止する

電源を切って電池を抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

雷が鳴り出したら金属部分に触れない

落雷すると誘電雷により感電の原因になります。

本製品を修理・改造・分解しない

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。修理は弊社修理センターにご依頼ください。
分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

濡れた手で本製品を扱わない

感電や、本製品の故障の原因になります。

乳幼児に触れさせない

添付の小部品(SD メモリーカードなど)を誤って飲み込まないようにしてください。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師に相談してください。

水濡れ禁止

本体を濡らさない

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

本製品を飛行機や病院内で使わない

使用した場合、飛行機や病院にある制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

❏ ⚠警告

本製品の回路には触れない

感電のおそれがあります。

液晶パネルから漏れた液体(液晶)には触れない

誤って液晶パネルの表示面を破壊し、中の液体（液晶）が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないようにしてください。万が一、液晶が目や口に入った場合は、すぐに水で5分以上洗い、医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣服に液晶が付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。そのまま放置すると、皮膚や衣服を傷めるおそれがあります。

本製品をパソコンに取り付ける場合は、本書で接続方法をご確認になり、以下のことに注意する

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品をご使用ください。故障や動作不良の原因となります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコンやケーブルから発煙したり火災の原因になります。

移動しながらの撮影はしない

歩行中や自動車などの乗り物を運転しながら使わないでください。転倒、交通事故の原因になります。

❏ ⚠注意

禁止

本製品のコネクタには触れない

コネクタに触れると静電気により、本製品が破壊されるおそれがあります。

禁止

動作中にケーブルを激しく動かさない

接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因になることがあります。

厳守

汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きする

●洗剤で汚れを落とす場合は、中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使わないでください。
●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。
故障の原因となります。

禁止

本製品を結露させたまま使わない

時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、表面・内部が結露し、誤動作や故障の原因になります。

❏ ⚠注意

本製品は以下のような場所で保管･使用しない

故障の原因になることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●傾いた場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●温度差の激しい場所
- ●静電気の影響の強い場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2，H_2S，NH_3，SO_2，NO_X など）

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにする

本製品を落とさない

本製品の落下による破壊、故障は有料修理となります。ご注意ください。

❑ 使用上のご注意

撮影／録音の前に、試し撮りを行ってください

大切な撮影（結婚式、会議など）をするときには、先に試し撮りをし、再生して撮影されていることを確認してください。

※ 本製品の故障などにより起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

メモリーカードの取り扱いのご注意

- ●カードへアクセス中に、カードを取り出したり、機器の電源を切ったりした場合、カード内のデータが破壊されることがあります。絶対におやめください。
- ●カードは精密電子機器です。曲げたり、強い力や、ショックを加えたり、落としたりしないでください。
- ●接触面に触れたり、ゴミや異物が付着しないようにご注意ください。
- ●ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときになどに大きな力が加わり、壊れるおそれがあります。
- ●大切なデータは定期的に、他のメディア（MO やハードディスクなど）にバックアップすることをおすすめします。

ご利用の環境によっては USB ハブに接続すると正常に動作しない場合があります

その場合はパソコン本体の USB ポートに接続してください。

本製品を USB ハブに接続してお使いになる場合は、USB ハブの電源は必ず AC アダプタを接続し、コンセントから電源を供給してください。

ご利用の環境によってはサスペンド、スタンバイ、スリープの機能が正常に動作しない場合があります

その場合は、本製品の使用時にはそれらのモードを使用しないでください。

パソコンを再起動して本製品が認識されなくなった場合は、USBケーブルを抜き差ししてください

安全にお使いいただくために

添付の専用ACアダプタは専用リチウムイオン電池への充電専用です。ACアダプタを使用して本製品を動作させないでください。

本製品を使用するときは必ず専用リチウムイオン電池を入れた状態で使用してください

撮影枚数が9999枚に達したら、データをパソコンに保管してください

本製品は9999枚以上のデータの表示ができません。

液晶には輝点(点灯したままの点)、滅点(点灯しない点)がある場合があります

これは、液晶パネル自体が 99.99%以上の有効画素と 0.01%の輝点・滅点をもつことによるものです。故障あるいは不良ではありません。修理交換の対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。

電池は普通のゴミと一緒に捨てないでください。

リチウムイオン電池はリサイクルできます。環境保護のため、不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってお近くの充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

電池は消耗品です。修理・交換の対象にはなりません。予めご了承ください。

電池の寿命(使用回数)について

電池は使用回数を重ねることにより容量が低下します。おおよそ 300 回程度で寿命となります。ただし、あくまでも目安です。寿命は、使用方法、使用環境などにより異なります。

本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づく製品です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

お使いになる前に

箱の中には ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ １６

仕様 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ １８

各部の名称 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ １９

準備をする ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ２１

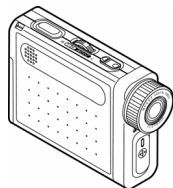
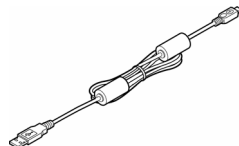
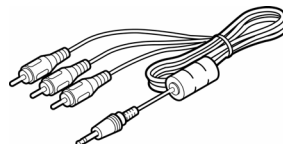
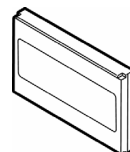
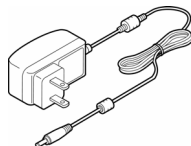
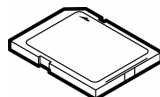
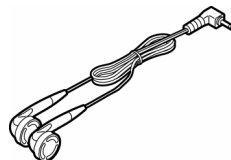
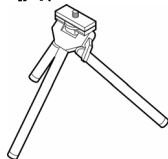
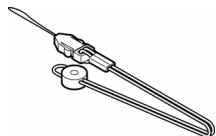
箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。□ にチェックをつけながら、ご確認ください。万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

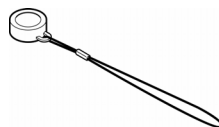
箱・梱包材は

大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

イラストについて

実物と若干異なる場合があります。

☐ 3 脚(1 個)

☐ ストラップ(1 本)

☐ レンズカバー(1 個)

(ストラップを付けた状態です)

☐サポートソフト(1 枚)

☐ レンズカバー用ストラップ(1 本)

☑ AVMC212 取扱説明書(1 冊:本書)

☐ 赤青メガネ(1 個)　(デジカメ 3D エディタ LE で使用します)

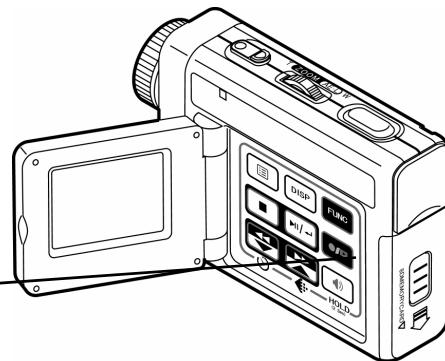
☐ ハードウェア保証書(1 枚)

ユーザー登録とサポートソフトのダウンロードについて

▼ここにシリアル番号をメモしてください。

シリアル番号は本製品の操作パネルのところに貼られているシールに印字されている 12 桁のものです。(例: ABC1234567ZX)
シリアル番号は、ユーザー登録の際に必要です。
また、アイ・オー・データ機器のホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にも必要な場合があります。

●**ユーザー登録**　　⇒http://www.iodata.jp/regist/

●**サポートソフトのダウンロード**⇒http://www.iodata.jp/lib/

仕様

本製品の仕様を説明します。

❑ ハードウェア仕様

撮像素子	200 万画素 CMOS センサー
有効画素数	192 万画素
対応メモリカード	SD メモリーカード（8M～512M バイト） MMC（8M～128M バイト）
液晶パネル	1.5 インチ TFT 液晶
レンズ	固定式 5 層ガラスレンズ
焦点距離	f=8.5mm
絞り	F=2.8
マイク	モノラルマイク
スピーカー	モノラルスピーカー
USB インターフェイス	USB Specification Rev.1.1 準拠

USB コネクタ	ミニ B コネクタ
イヤホンコネクタ	ステレオ
外部電源端子	DC 5V
映像音声出力コネクタ	専用ビデオ(NTSC) オーディオ(ステレオ) 出力コネクタ
電源	専用リチウムイオン電池 専用 AC アダプタ
使用温度範囲	0～40℃
使用湿度範囲	20～80% (ただし結露なきこと)
外形寸法	89(W) x 32(D) x 63(H) mm
質量	約 91g（本体のみ）

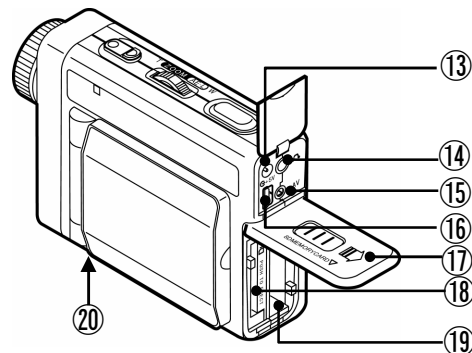
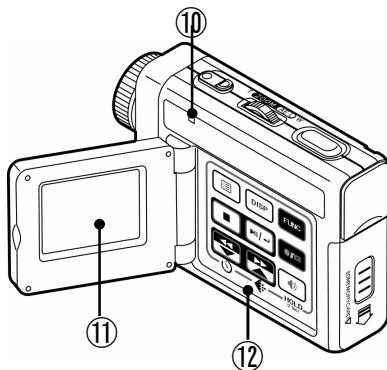
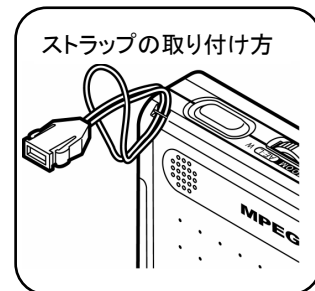
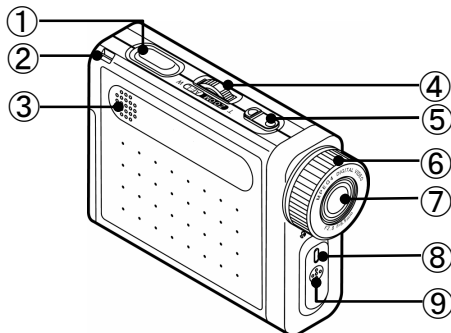
❑ 推奨メモリカード

弊社製	PCSD シリーズ，PCMMC シリーズ，MMC2 シリーズ

弊社推奨メモリカード以外をご利用されますと誤動作やデータ消失などの原因となります。
必ず推奨メモリカードをご利用ください。

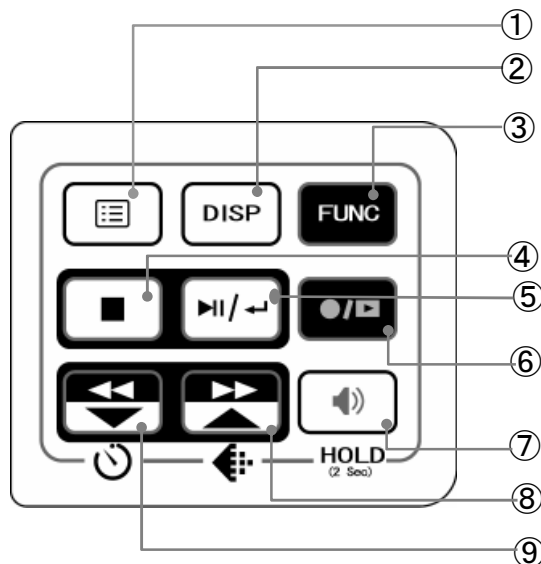
各部の名称

本製品の各部の名称を説明します。

①	シャッターボタン
②	ストラップホルダー
③	スピーカー
④	ズームスイッチ
⑤	電源スイッチ
⑥	近接撮影ダイヤル
⑦	レンズ
⑧	LED
⑨	マイク
⑩	電源ランプ
⑪	液晶画面
⑫	操作パネル(次ページ参照)
⑬	外部電源端子※1
⑭	イヤホン端子
⑮	AV出力コネクタ
⑯	USBコネクタ
⑰	電池カバー
⑱	メモリカードスロット
⑲	電池ボックス
⑳	三脚ネジ穴(底面)※2

※1 専用 AC アダプタを使用して充電用として使用

※2 三脚に固定するときはネジをしめすぎないでください

操作パネル

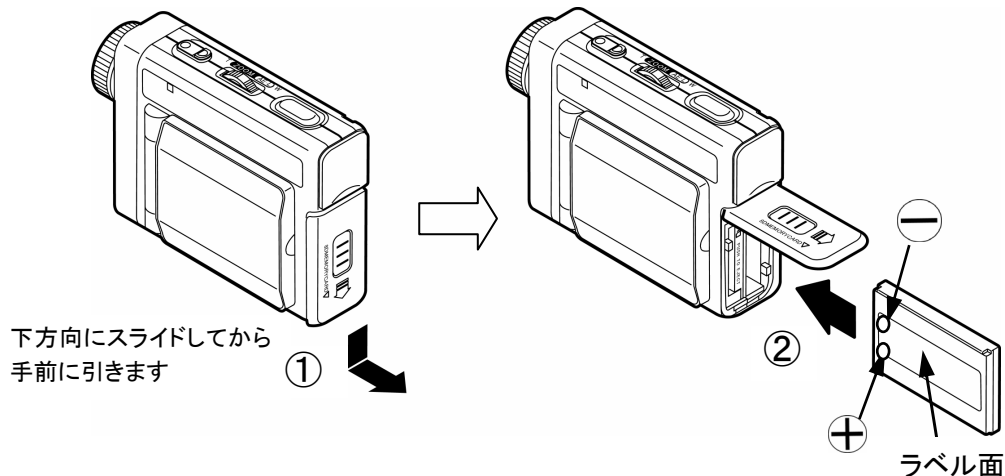
①	メニューボタン
②	液晶表示切替ボタン 以下の表示を切り替えます。 ・通常表示 ・ガイドラインを表示する ・液晶画面に表示しない
③	モード切替ボタン
④	停止ボタン
⑤	再生／一時停止／決定ボタン
⑥	再生モードボタン
⑦	音量／ホールドボタン （2 秒以上押し続けると、ホールド状態（どのボタンを押しても無効）となります。再度 2 秒以上押し続けると解除されます。）
⑧	次へ／解像度切替／ボタン
⑨	戻る／セルフタイマーボタン

準備をする

本製品に添付品を取り付ける方法について説明します。

❑電池を入れる

専用リチウムイオン電池を使用します。

①電池カバーを開けます。

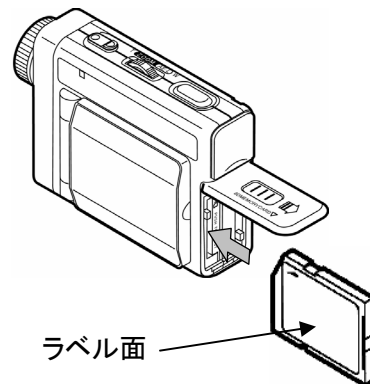
②向きを間違えないように電池を入れます。

ご使用時は、カメラとして使用する場合もパソコンと接続して使用する場合も、必ず専用リチウムイオン電池を入れた状態でご使用ください。

❑メモリカードを入れる

本製品は SD メモリーカード/マルチメディアカードを使用することができます。

①SD メモリーカード/マルチメディアカードをメモリカードスロットに入れます。向きに注意してください。

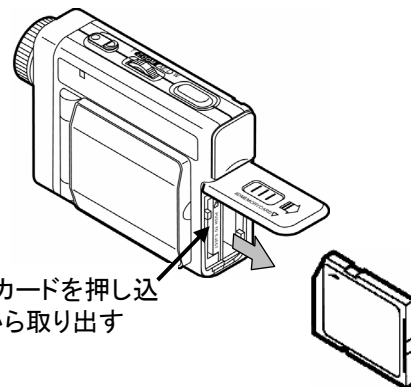
②カチッと音がするまで軽く押し込みます。

③電池カバーを閉じます。

❑メモリカードを取り出すときは

①電源を切ります。（28 ページ参照）

②電池カバーを開けます。

③一度メモリカードを押し込みます。

④少し出てきたメモリカードをつまんで取り出します。

メモリカードの抜き差しは、必ず本製品の電源を切った状態で行ってください。

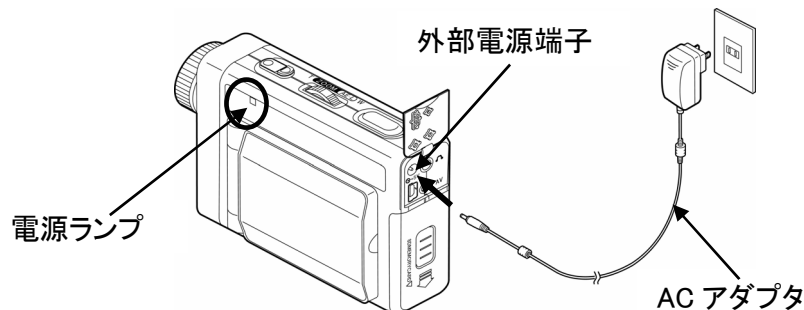
データが破損するおそれがあります。

電池は出荷前に若干量の充電をしてありますが、長時間使用するときは充電してからお使いください。

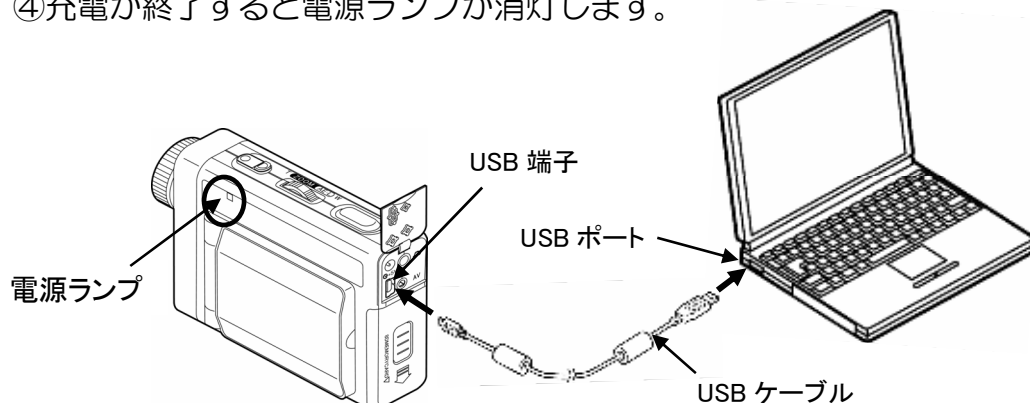
❑充電する

添付の電池を充電する場合は、2 通りの方法があります。

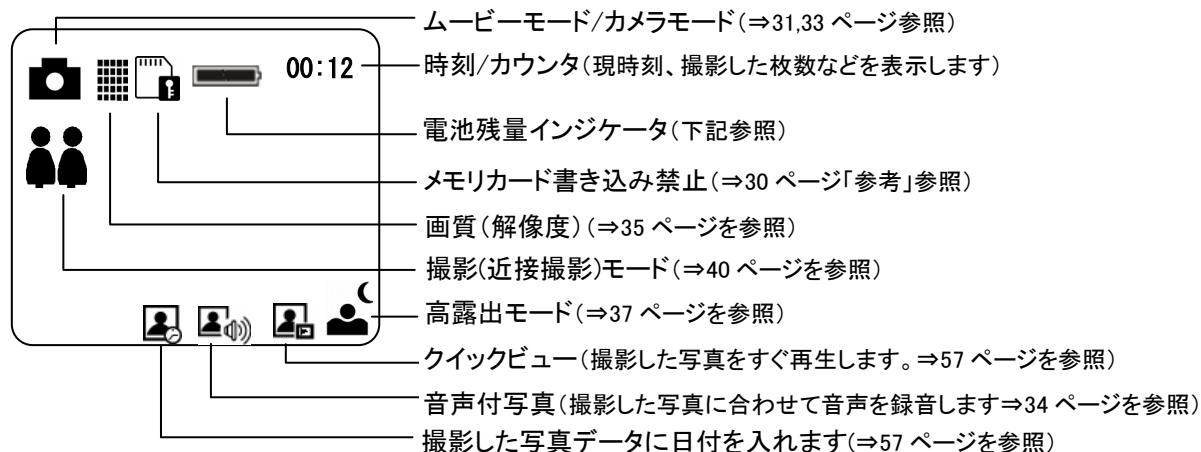
●AC アダプタを接続する

①添付の専用 AC アダプタを本製品の外部電源端子に接続します。
②専用 AC アダプタをコンセントに接続します。
　電源ランプが赤く点灯します。
③充電が終了すると電源ランプが消灯します。

充電時間について
・使い切った電池を充電する場合は、約 4 時間で充電が終了します。
・充電完了した電池で約 90 分動作します。（使用状況により異なります。）

● パソコンの USB ポートに接続する。

①パソコンの電源を入れます。
②添付の USB ケーブルを本製品の USB ポートに接続します。
③パソコンの USB ポートに接続します。
電源ランプが赤く点灯します。
④充電が終了すると電源ランプが消灯します。

充電時間について

・使い切った電池を充電する場合は、約 4 時間で充電が終了します。
・充電完了した電池で約 90 分動作します。（使用状況により異なります。）

❏液晶画面の表示内容について

❑ 表示されるメッセージについて

NO CARD	メモリカードが入っていません。メモリカードを入れてください。
MEMORY　FULL	メモリカードの空きスペースがなくなりました。 不要なデータを削除、または他のメモリカードと取り替えてください。
BUSY	画像データの処理中です。しばらくお待ちください。
NO DATA	データが記録されていません。

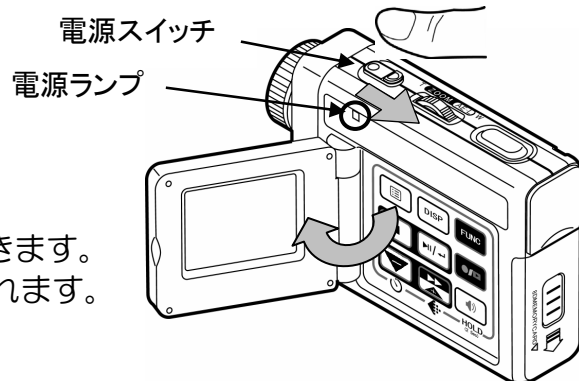
使ってみる

カメラの電源を入／切する･･２８
日付／時刻を合わせる･･２９
撮影について ･･･３０
ムービーを撮る ･･･３１
写真を撮る ･･･３３
画質／解像度／撮影枚数について･･３５
セルフタイマーで撮る･･３６
高露出撮影機能 ･･･３７
露出を固定する ･･･３８
ズームについて ･･･３９
近接（マクロ）撮影について･･４０
音声（ボイス）を録音する･･４１
ムービー／写真を再生する･･４２
MP3 データを再生する･･４７
データを消去する ･･･５０
メモリカードをフォーマットする･･５４
メニュー ･･･５５

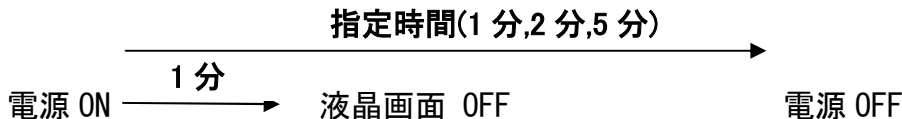
カメラの電源を入／切する

本製品の電源を入／切する方法を説明します。

1　**液晶パネルを開きます。**

2　**電源スイッチを手前にスライドします。**
電源ランプが点灯します。
⇒電源が入ります。
電源を切るときも同じ操作で切ることができます。
⇒「power off　・・・」と表示して電源が切れます。

自動電源 OFF について
本製品を指定時間操作しなかった場合は、自動的に電源が切れます。（指定時間はメニューで指定します。） →56 ページ参照

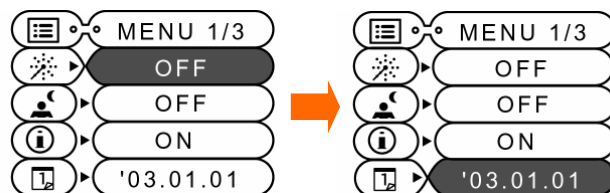
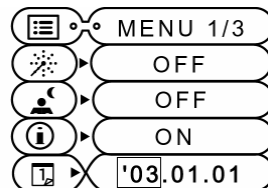
指定時間(1 分,2 分,5 分)

電源 ON —1 分→ 液晶画面 OFF → 電源 OFF

専用 AC アダプタを使用して本製品の電源を入れないでください。
専用 AC アダプタはリチウムイオン電池への充電専用です。

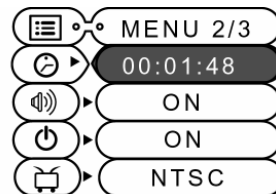
日付／時刻を合わせる

ご使用になる前に日付と時刻を合わせます。

1 **電源を入れます。**

2 **操作パネルの [メニュー] を押してメニューを表示し、操作パネルの [▼] を押して日付([日付])を選択します。**

3 **操作パネルの [▶II/↵] を押します。**
⇒「年」が選択されます。

4 **[▼] または [▲] で年を合わせ、[▶II/↵] を押します。**
変更しない場合は、そのまま [▶II/↵] を押します。

5 **次に同様の手順で月、日を合わせます。**

6 **日付の設定が終了したら、[▼] を押してメニューを切り換えます。**

7 **時間[[時計]]を選択し、日付の手順と同様に時刻を合わせます。**

撮影について

本製品を使って撮影するときの注意点を説明します。

❑ 持ち方

手でレンズやマイクをふさがないようご注意ください。

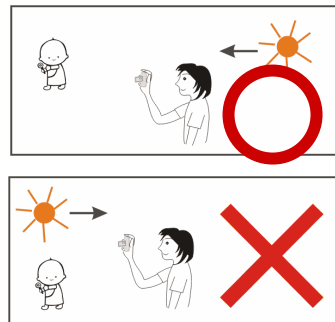
❑ 正しい撮影方法

① 逆光での撮影は避けてください。→左図参照

② 撮影対象を正面からとらえていることを確かめてください。
※撮影距離の目安（マクロモード：25cm、通常：70cm～∞）

③ カメラの高さを保ちながら安定させた状態で、シャッターを押してください。

④ 適切な光源があることを確かめてください。
※ 屋内の場合は、特にご注意ください。

⑤ ムービーを撮る際は、カメラをゆっくり移動させてください。

撮影できないときは

SD メモリーカードが書き込み禁止になっていないか確認してください。
書き込み禁止になっていると撮影ができません。

ムービーを撮る

本製品を使ってムービー撮影する方法を説明します。（ムービーモード）

❑ 撮影できるムービー

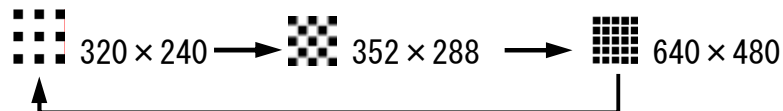
ファイル形式	ASF ファイル形式 MPEG4 圧縮
サイズ/フレームレート	640×480 ピクセル(最高 10fps)
	352×288 ピクセル(最高 30fps)
	320×240 ピクセル(最高 30fps)

メモリ容量	撮影可能時間	メモリ容量	撮影可能時間
8M バイト	約 1〜2 分	128M バイト	約 20〜28 分
16M バイト	約 2〜4 分	256M バイト	約 42〜56 分
32M バイト	約 5〜8 分	512M バイト	約 84〜110 分
64M バイト	約 10〜14 分		

※撮影可能時間は撮影対象の状態により異なります。
動きの大きな対象物では圧縮効率が悪くなるため撮影可能時間が短くなります。

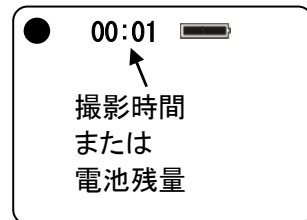
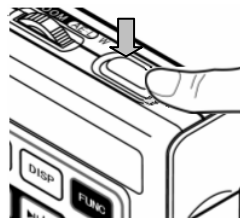
サイズ／フレームレートの切り替え方法

ムービーモード時に、操作パネルの [ボタン] を押すとサイズが切り替わります。

320×240 → 352×288 → 640×480

❏ムービー撮影方法

1　操作パネルの FUNC を押して、ムービーモードに切り替えます。

液晶画面左上にムービーモードアイコン が表示されます。

2　シャッターを押します。
⇒ムービー撮影が開始されます。
液晶画面に「●」とカウンタ（撮影時間）または電池残量が表示されます。

3　撮影を終了するときは、シャッターを押します。
⇒ムービー撮影は終了します。「●」が消えます。

※表示される時間はあくまでも目安です。実際の撮影時間は撮影対象により異なります。

撮影時間または電池残量表示について
操作パネルの DISP を押すことで、撮影時間と電池残量表示を切り替えることができます。
撮影時間　→　電池残量　→　液晶画面 OFF

写真を撮る

本製品を使って写真撮影する方法を説明します。（カメラモード）

❑撮影できる写真

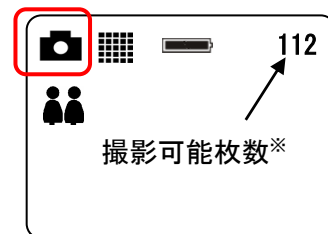
ファイル形式	JPEG 形式

❑写真撮影方法

※撮影可能枚数はあくまでも目安です。

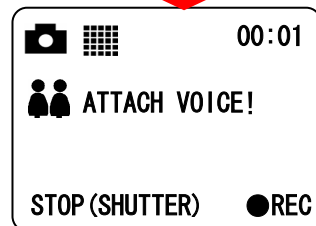
1 **操作パネルの FUNC を押して、カメラモードに切り替えます。**
液晶画面左上にカメラモードアイコン が表示されます。

2 **次に、操作パネルの を押して画質を設定します。**
【画質／解像度／撮影枚数について】(35 ページ)をご覧ください。

3 **シャッターを押します。**
⇒写真撮影されます。
　プレビュー画像（今撮った写真の画像）が消えれば、
　写真撮影は完了です。
「音声付写真」モードが ON（液晶画面の下に が表示）
　の場合は、次ページへお進みください。

「音声付写真」モード（ ）が ON になっているときは、写真撮影の後以下の操作で録音します。

❑音声付写真撮影方法

1 **右の画面が表示されていますので、音声を録音する場合は、シャッターを押します。**
録音しない場合は、操作パネルの ■ を押します。

2 **録音を終了する場合は、シャッターを押します。**

音声付写真の再生方法について
再生モードで「音声付写真」を表示中に操作パネルの ▶II/↵ を押すと録音した音声が再生できます。

❑画質/解像度/撮影枚数について

本製品は、撮影する画質をFine、High、Lowの３種類から選択して撮影することができます。

アイコン				
画質		Fine	High	Low
解像度		2304 x 1728	1600 x 1200	640 x 480
撮影※枚数	8MB	12(枚)	20(枚)	100(枚)
	16MB	24	40	200
	32MB	48	80	400
	64MB	96	160	800
	128MB	192	320	1600
	256MB	384	640	3200
	512MB	768	1280	6400

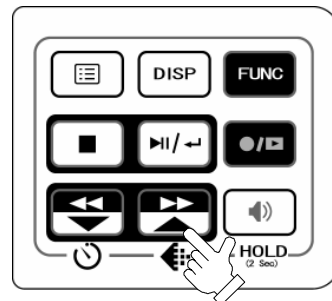
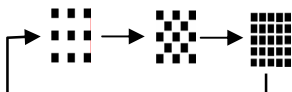
※撮影枚数はあくまでも目安です。

→ 液晶画面左上に表示されます。

マルチメディアカード

SD メモリーカード

1　操作パネルの を押します。

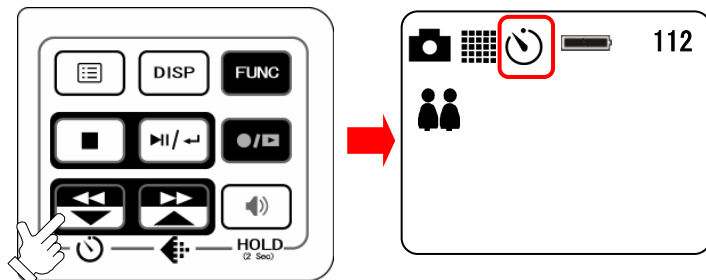
押すごとに画質が、
Low→High→Fine→Low と変化します。

セルフタイマーで撮る

セルフタイマーを使って写真撮影をする方法を説明します。

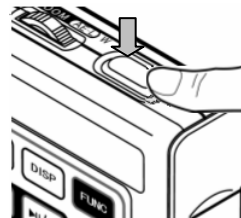
❏ セルフタイマー

1 **操作パネルの [ボタン] を押します。**

セルフタイマーアイコン [アイコン] が

液晶画面左上に表示されます。

2 **シャッターを押します。**

⇒10 秒後に自動的にシャッターが切られます。

※セルフタイマーの時間は 10 秒固定です。

高露出撮影機能

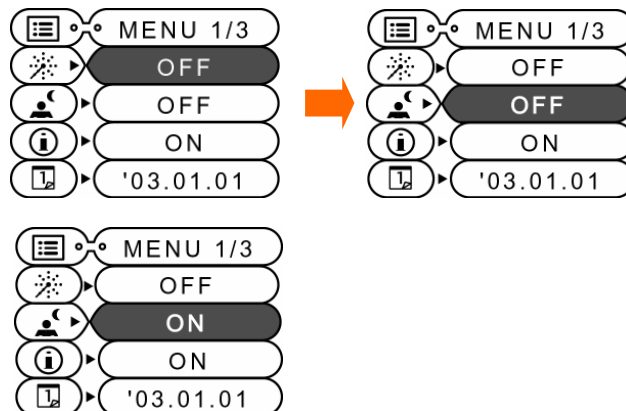
屋内などの薄暗いところで撮影する場合の設定方法を説明します。

暗闇など極端に明るさが不足する場所では撮影できません。

❑ 高露出撮影方法

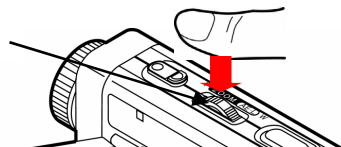
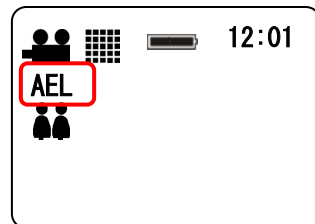
●ムービーモード／カメラモードで撮影する場合

1 **操作パネルの [メニュー] を押してメニューを表示し、操作パネルの [▼] を押して高露出( )を選択します。**

2 **操作パネルの [▶II/↵] を押します。**
⇒「OFF」→「ON」になります。

露出を固定する

ムービーまたはカメラ撮影時、自動的に露出を調整していますが、露出を固定して撮影することもできます。

❑ 露出固定撮影方法

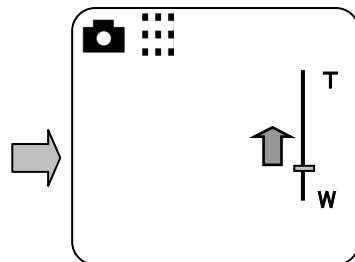
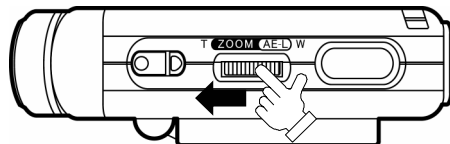
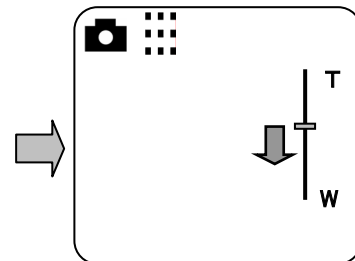
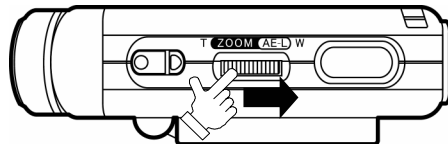
1 **ズームスイッチを押します。**

2 **液晶画面に「AEL」と表示されます。**
この状態で撮影すると、露出は固定されて撮影されます。元に戻すときは再度ズームスイッチを押します。

※露出は自動／固定のいずれかです。（手動で変更することはできません。）

ズームについて

ズームで撮る方法を説明します。

❑ ズーム

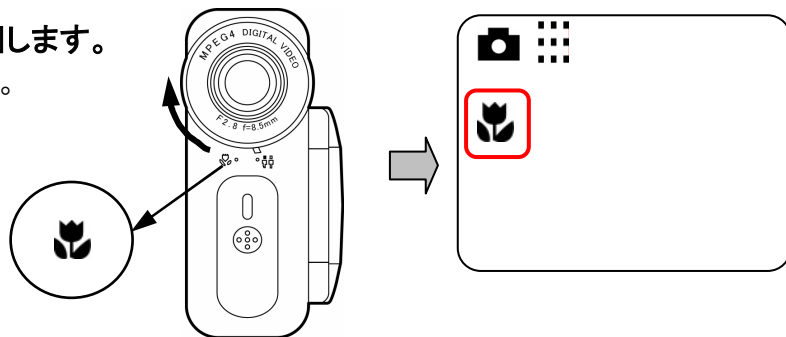
無段階でズーム（最大 4 倍）できます。

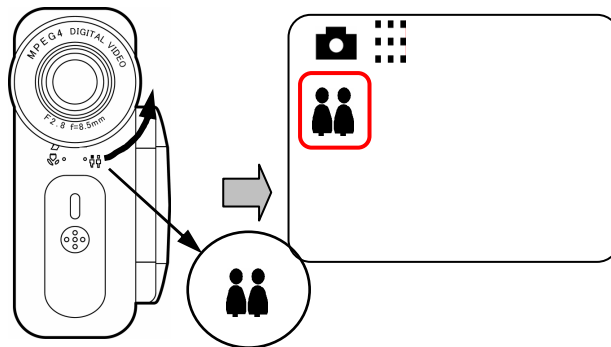
1　ズームスイッチを（T）側に回します。
[T] 側に回すと望遠になります。

2　ズームスイッチを（W）側に回します。
[W] 側に回すと広角になります。

ズームについて
本製品のズームはデジタルズームです。光学ズームと異なり、ズームを行うと画質は低下します。

近接（マクロ）撮影について

花や昆虫などの小さな被写体や被写体の細部を接近して撮る方法を説明します。

❑ 近接（マクロ）撮影

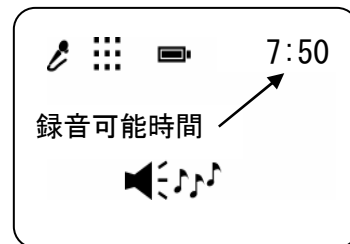
[近接撮影ダイヤル]を 側に回します。
液晶画面に が表示されます。
フォーカス距離は 25cm です。

❑ 通常撮影

[近接撮影ダイヤル]を 側に回します。
液晶画面に が表示されます。
フォーカス距離は 70cm～∞です。

音声(ボイス)を録音する

音声（ボイス）を録音する方法を説明します。

❑ 音声(ボイス)の録音

1　操作パネルの FUNC を押して、音声録音モードに切り替えます。

⇒[ ]が表示されます。

2　シャッターを押します。

⇒録音を開始します。

3　シャッターを押します。

⇒録音を停止します。

録音時間について

●操作パネルの を押すことで、録音時間を標準または長時間モードにすることができます。

: 標準　（添付のメモリカード(8M バイト)で約 4.5 分録音可能です）

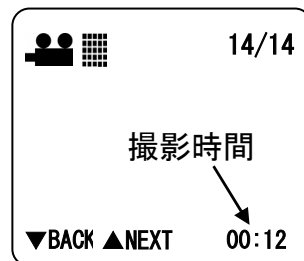
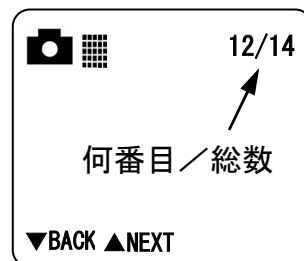
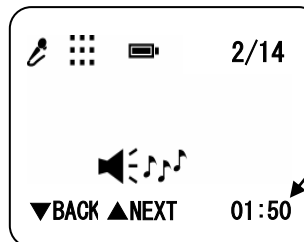
: 長時間モード（録音時間は標準の場合の約 2 倍になります。）

ムービー／写真を再生する

撮ったムービー／写真や録音した音声を再生する方法を説明します。（再生モード）

❑ 液晶画面で再生する

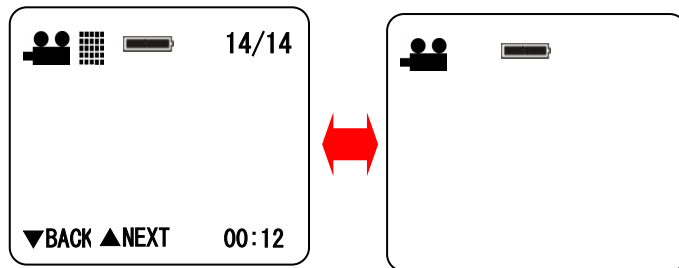
1 **操作パネルの ●/▶ を押します。**
最後に撮影したものが表示されます。

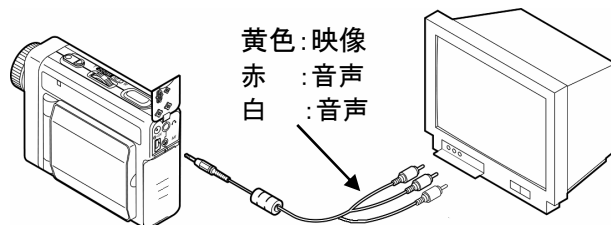
他の表示するときは操作パネルの ◀◀/▼ や ▶▶/▲ を押します。

2 **ムービー、音声（ボイス）を再生するときは、操作パネルの ▶II/↵ を押します。**
再生を開始します。

3 ムービー、音声（ボイス）の再生を停止するときは、操作パネルの ■ を押します。
再生を停止します。

再生状態から戻るには
再度、操作パネルの ●/▶ を押すことで前の状態に戻ります。

早送り／早戻しについて
ムービー再生時は、操作パネルの ◀◀▼ ／ ▶▶▲ で早送り／早戻しできます。

液晶画面表示について
ムービーを再生中、操作パネルの DISP を押すと、ムービー／カメラモードアイコン、電池残量インジケータ以外を消すことができます。

❑テレビで見る

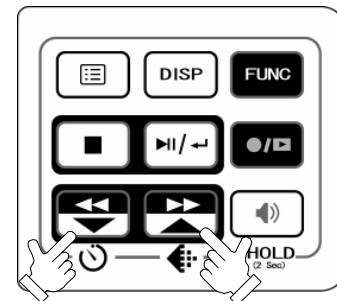
1 **本製品とテレビを接続します。**
添付の出力ケーブルを使って、テレビ側のビデオ入力端子、音声入力端子に接続します。

3 **テレビ側の入力切替を行います。**

2 **本製品の電源を入れます。**
⇒テレビに液晶画面の表示が映ります。
※テレビに接続した場合は、本製品の液晶画面は表示されません。

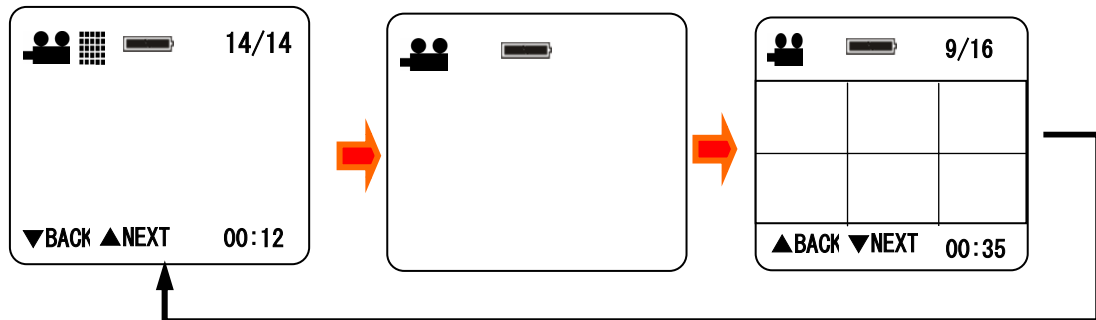
3 **あとは、【液晶画面で再生する】(42 ページ)をご覧ください。**

❑ 音量を調節する

1 **操作パネルの [🔊] を押します。**
現在の音量が表示されます。

2 **操作パネルの [▶▶/▲]（音量上がる）または [◀◀/▼]（音量下がる）で好みの音量にします。**

❏ サムネイル表示する

撮ったムービーや写真をサムネイル表示できます。

1　再生モード時に、操作パネルの DISP を押します。
押す毎に以下の表示となります。
6 分割されたサムネイルが表示されます。

ボタンまたは ボタンでサムネイルを選択できます。

2　操作パネルの ▶II/↵ を押すとムービーや音声（ボイス）が再生されます。
※ムービー再生中、操作パネルの DISP を押すことにより液晶画面表示を切り替えることができます。（43 ページの参考を参照）

MP3データを再生する

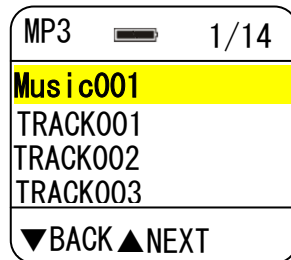
MP3 データを再生する方法を説明します。

❏ MP3 データの再生方法

1　操作パネルの FUNC を押して、MP3 モードに切り替えます。

MP3 データがある場合は、曲名（ファイル名）が表示されます。
ただし、表示できるのは半角英数字（8 文字まで）のみです。
それ以外の文字が含まれている場合は、TRACKXXX と表示されます。
※ ID3 タグ表示には対応しておりません。

2　操作パネルの ⏪▼ や ⏩▲ で、再生したい曲を選んで操作パネルの ⏯/↵ を押します。

⇒再生が始まります。

❑ MP3 データをメモリカードに書き込む

MP3 データを本製品で再生するときは、メモリカードに MP3 データを書き込む必要があります。メモリカードに書き込むには、本製品とパソコンを接続して書き込むか、メモリカードライターなどで直接メモリカードに MP3 データを書き込みます。

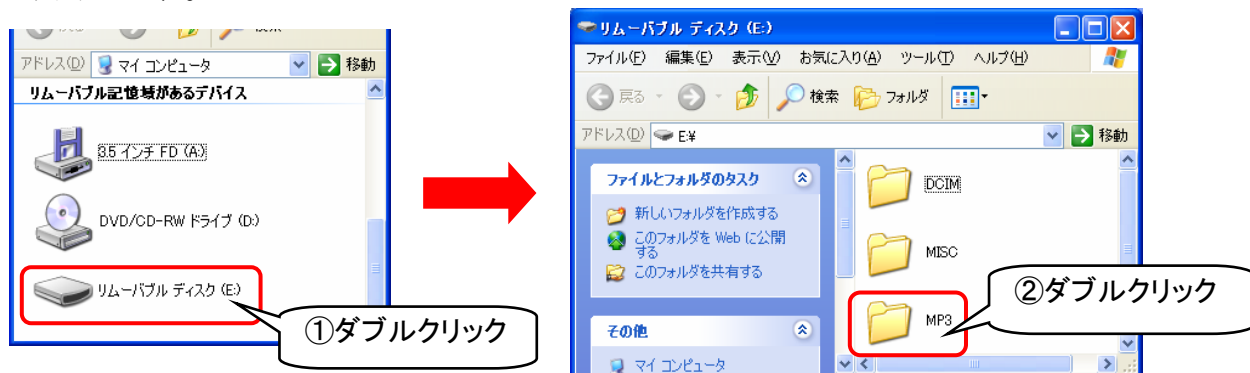
- **新しいメモリカードをお使いになる場合は、本製品でメモリカードをフォーマット※してから、一度 MP3 モードにしてください。（「MP3」フォルダが作成されます。）**
- **MP3 データはメモリカード内の「MP3」フォルダに書き込んでください。**
- **再生対応ビットレートは 128Kbps、CBR（固定ビットレート）です。**

※フォーマット方法は【メモリカードをフォーマットする】（54 ページ）を参照してください。

以下では本製品とパソコンを接続して書き込む方法を説明します。

1　本製品とパソコンを接続します。

接続方法は【パソコンに接続して使う】（59 ページ）を参照してください。

2 ([スタート])→[マイコンピュータ]→[リムーバブルディスク]→[MP3]フォルダを順にダブルクリックします。

3 [MP3]フォルダに MP3 データを書き込みます。
※書き込んだファイル名を半角英数字（8 文字）にすると
　MP3 再生時にファイル名が表示されます。

書き込む

データを消去する

撮影したデータ（ムービー、カメラ）、音声データ、MP3 データを消去する方法を説明します。
データの消去はメニューモードで行います。

❏ 撮影したデータ(ムービー、カメラ)、音声データを消去する

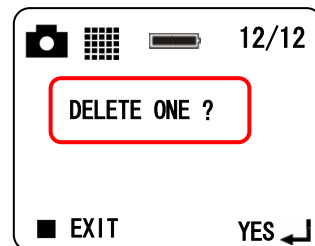
1 **操作パネルの [●/▶] を押して再生モードにします。**

2 **消去したいデータを選びます。(サムネイル表示する場合は 46 ページ【サムネイル表示する】参照)**
操作パネルの [▶▶/▲] または [◀◀/▼] で消去するデータを選びます。

3 **操作パネルの [☰] を押します。**
メニューが表示されます。

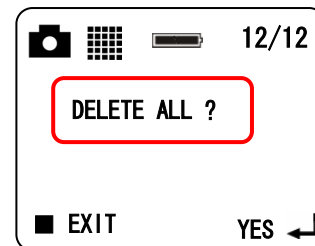
選択したデータのみ消去する場合

4 **データ消去(☒)を選択し、操作パネルの [▶II/↵] を押します。**

5 **[DELETE ONE ？]と表示されますので、消去する場合は操作パネルの [▶II/↵] を押します。**
消去しない場合は、操作パネルの [■] を押します。

消去したデータは元には戻りません。充分に注意して操作を行ってください。

全データを消去する場合

4 **データ消去( )を選択し、操作パネルの ▶II/↵ を押します。**

5 **[DELETE ALL ?] と表示されますので、消去する場合は操作パネルの ▶II/↵ を押します。**
消去しない場合は、操作パネルの ■ を押します。

消去したデータは元には戻りません。充分に注意して操作を行ってください。

❏ MP3 データを消去する

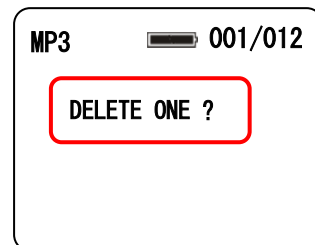
1 **操作パネルの FUNC を押して MP3 モードにします。**

2 **消去したいデータを選びます。**
操作パネルの ▶▶ または ◀◀ で消去する MP3 データを選びます。

3 **操作パネルの ☰ を押します。**
メニューが表示されます。

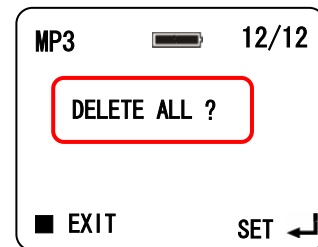
選択したデータのみ消去する場合

4 **データ消去(☒)を選択し、操作パネルの ▶II/↵ を押します。**

5 **[DELETE ONE ?]と表示されますので、消去する場合は操作パネルの ▶II/↵ を押します。**
消去しない場合は、操作パネルの ■ を押します。

消去したデータは元には戻りません。充分に注意して操作を行ってください。

全データを消去する場合

4 データ消去（ ）を選択し、操作パネルの ▶II/↵ を押します。

5 [DELETE ALL ？] と表示されますので、消去する場合は操作パネルの ▶II/↵ を押します。
消去しない場合は、操作パネルの ■ を押します。

消去したデータは元には戻りません。充分に注意して操作を行ってください。

メモリカードをフォーマットする

メモリカードをフォーマット（すべてのデータを消去）する方法を説明します。

1 **操作パネルの [メニュー] を押します。**
メニューが表示されます。

2 **フォーマット（ [F] ） を選択し、操作パネルの [▶II/↵] を押します。**

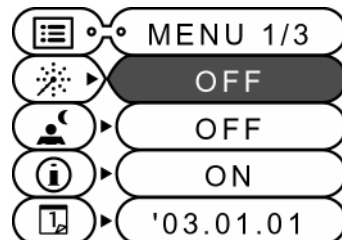
3 **[FORMAT？]と表示されますので、消去する場合は操作パネルの [▶II/↵]を押します。**
※フォーマットを中止したい場合は、操作パネルの [■] を押します。

フォーマットするとすべてのデータは消去されます。消去されたデータは元には戻りません。充分に注意して操作を行ってください。

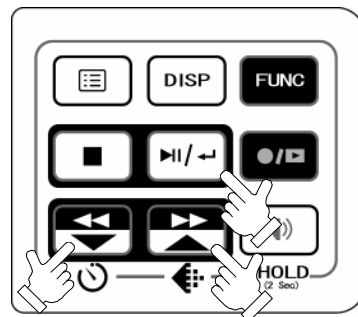
メニュー

液晶画面に表示されるメニューについて説明します。
メニューの各項目については次ページをご覧ください。

❑ メニューを開く

● **操作パネルの [メニュー] を押します。**
⇒メニューが開きます。
※表示される項目は、本製品のモードにより異なります。表示される項目は次ページを参照してください。

❑ メニューの操作

1 **操作パネルの [▶▶/▲] または [◀◀/▼] で項目を選びます。**
⇒メニュー項目を選べます。

2 **操作パネルの [▶II/↵] を押します。**
⇒各項目の内容が変更されます。

❑メニュー項目

（MO：ムービー　CA：カメラ　VO：ボイス　MP：MP3　再：再生モード時）

	機能名	説明	MO	CA	VO	MP	再
	画質	[OFF]：通常 [SEPIA]：セピア色　[B&W]：白黒　[MOSAIC]：モザイク※ ※モザイクの効果は本製品の液晶画面では確認できません。	○	○			
	高露出	[OFF]：通常 [ON]：　高露出モードで撮影できます。	○	○			
	情報表示	[ON]：　通常 [OFF]：時計表示やカウンタなどを表示しません。	○	○			
	日付	年、月、日を変更します。	○	○	○	○	○
	時刻	時、分、秒を変更します。	○	○	○	○	○
	操作音	[ON]：　通常 [OFF]：ボタンを押したときの操作音などの音を出しません。	○	○	○	○	○
	自動電源 OFF	電源を入れてから、指定時間ボタン操作がないと自動的に電源を切ります。 [OFF]：自動的には電源を切りません。 [1Min]：1 分（60 秒）ボタン操作がないと電源を OFF します。 [2Min]：2 分（120 秒）ボタン操作がないと電源を OFF します。 [5Min]：5 分（300 秒）ボタン操作がないと電源を OFF します。	○	○	○	○	○

	機能名	説明	MO	CA	VO	MP	再
	ビデオ出力タイプ	[NTSC]：通常はこちらでお使いください。 [PAL]： 通常使用しません。	○	○	○	○	○
	50Hz/60Hz切り替え	映像に縞模様のノイズが入る場合は、どちらかに切り替えてお試しください。	○	○	○	○	○
	フォーマット	メモリカードをフォーマットします。（54 ページ参照）	○		○	○	○
	クイックビュー	[OFF]：通常 [ON]： 写真撮影後、撮影したものを液晶画面に表示します。		○			
	音声付写真	[OFF]：通常 [ON]： 写真撮影後、音声を録音すると、写真に対応した音声が録音できます。 再生は写真データの表示時に、操作パネルの ▶II/↵ を押すと再生します。 録音した音声データは「MISC」フォルダに記録されます。 写真データと同じファイル名で拡張子が WAV となります。		○			
	日付入り	[OFF]：写真に日付を入れません。 [ON]：写真に日付を入れます。		○			
	スライドショー	各データの先頭（5 秒間）を再生します。 ムービーの場合：先頭の映像（5 秒間）を再生します。 写真の場合：写真を 5 秒間表示します。 音声の場合：先頭（5 秒間）の音声を再生します。 MP3 の場合：先頭（5 秒間）の音楽を再生します。				○	○

	機能名	説明	MO	CA	VO	MP	再
	リピート	MP3 データを繰り返し再生します。 [OFF]：リピートはしません。 [ONE]：1 曲のみリピートします。 [ALL]：すべての曲をリピートします。				○	
	1 データ消去	1 データを消去します。				○	○
	全データ消去	すべてのデータを消去します。				○	○
	ローテート	写真データを反時計方向に回転して表示します。 [ROTATE　0]：回転しません。 [ROTATE 90]：反時計方向に 90°回転します. [ROTATE180]：反時計方向に 180°回転します. [ROTATE270]：反時計方向に 270°回転します.					○

パソコンに接続して使う

動作環境 ………………………………………………………… ６０

使えるようにする ……………………………………………… ６１

マスストレージモード／PC カメラモード………………… ６８

MediaSink………………………………………………………… ７０

Windows Messenger で使う………………………………… ７１

Ulead のソフトウェア ………………………………………… ７４

デジカメ 3D エディタ LE……………………………………… ７６

Macintosh で使用する ………………………………………… ７７

動作環境

本製品をパソコンに接続して使える環境を説明します。

❑対応機種および対応 OS

対応機種	DOS/V マシン, NEC PC98-NX シリーズ, Apple Macintosh シリーズ
対応 OS	Windows XP, Windows 2000, Windows Me, Windows 98 Second Edition Mac OS 9, 9.0.4, 9.1, 9.2〜9.2.2 Mac OS X 10.1〜10.1.5, 10.2〜10.2.6 ※Mac OS,Mac OS X ではマスストレージ機能のみ使用可能です。 本製品で撮影した動画の再生には対応しておりません。 また、添付のアプリケーションは、Macintosh には対応しておりません。
CPU	Pentium 266MHz 以上（Pentium Ⅲ 500MHz 以上推奨）
メモリ	64M バイト以上（128M バイト以上推奨）
DirectX	DirectX 8.1 以上
ビデオメモリ	4M バイト以上
CD-ROM	4 倍速以上
USB 環境	USB 1.1 対応ポート搭載

使えるようにする

本製品をパソコンに接続して使えるようにする方法を説明します。(Macintosh の場合は 77 ページを参照してください。)

ここでの画面例について

ここでは、Windows XP での画面例を掲載しています。
Windows によっては画面が異なりますが、操作はほぼ同じです。

1 **Windows を起動します。(ここではまだ本製品をパソコンには接続しないでください。)**

※ Windows XP/2000 はコンピュータの管理者(Administrators)グループに属するユーザーでログオンしてください。

2 **パソコンに AVMC212 サポートソフトを挿入します。**

⇒サポートソフトメニューが表示されます。

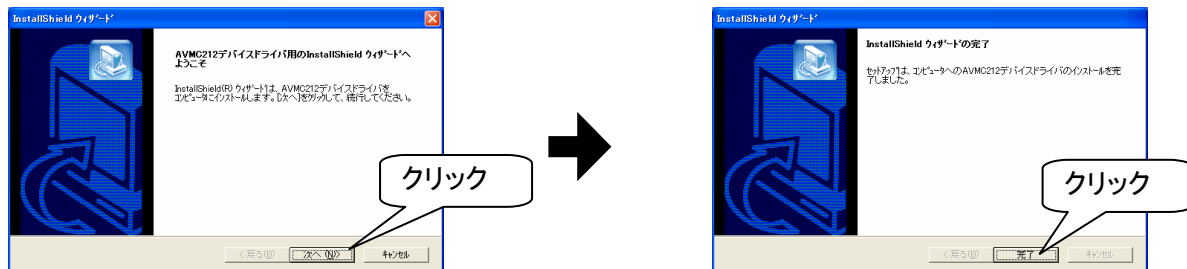
サポートソフトメニューが表示されないときは

[マイコンピュータ] → [AVMC212] → [AUTORUN] の順にダブルクリックします。

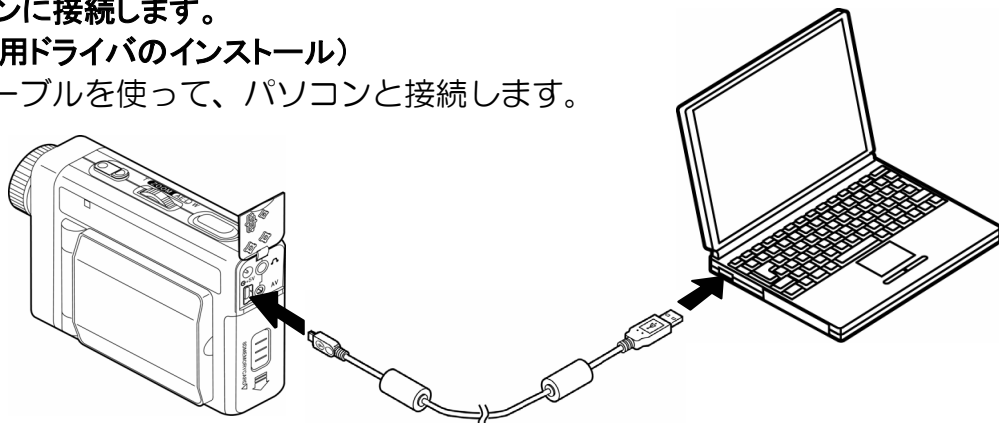
3 **[AVMC212 デバイスドライバ]をクリックします。**

⇒インストールが始まります。

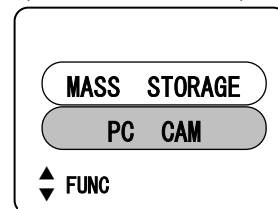
クリック

4 画面の指示に従ってインストールします。

5 本製品をパソコンに接続します。

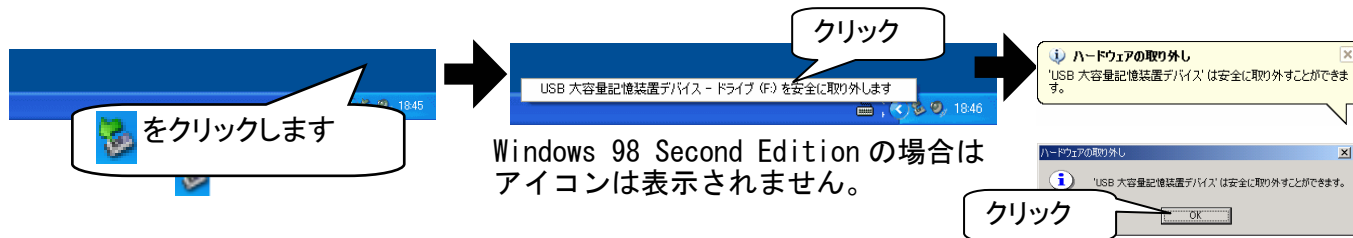
（マスストレージ用ドライバのインストール）

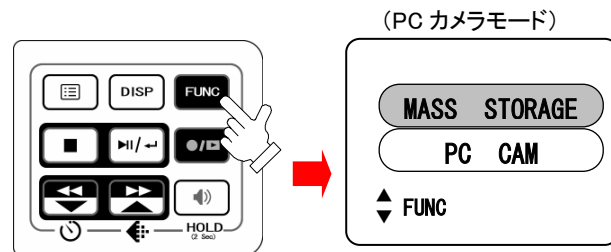
添付の USB ケーブルを使って、パソコンと接続します。

必ず、本製品に専用リチウムイオン電池を入れた状態で接続してください。リチウムイオン電池は充分充電してお使いください。残量が少ないと正常に起動しなかったり、途中で電源が切れたりします。

6　本製品の電源を入れます。

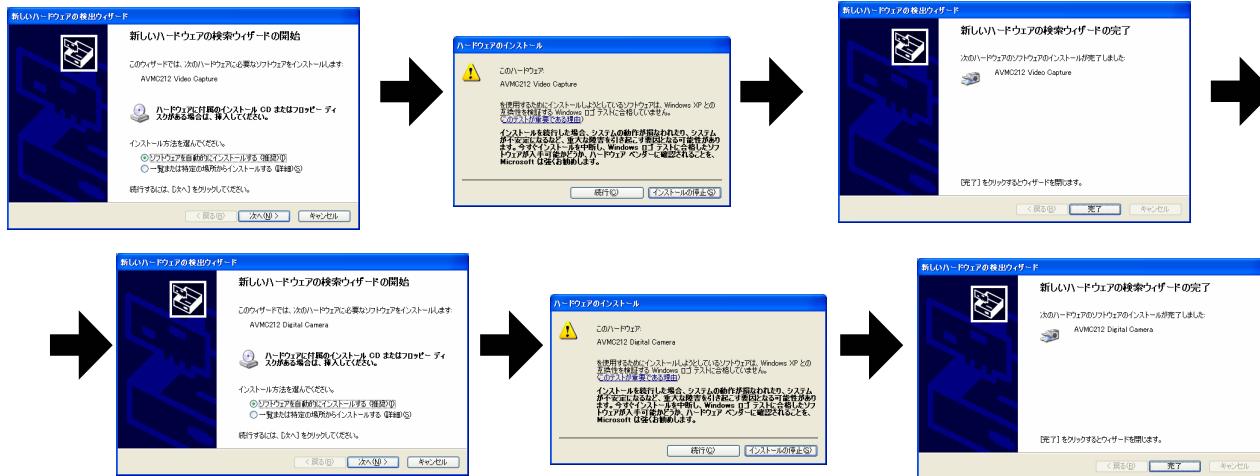
⇒液晶画面に右の画面のように表示されます。
　その後、しばらくして自動的にマスストレージモードで使用するためのドライバがインストールされます。

お使いの Windows のバージョンによっては、Windows の CD-ROM を要求されます
その場合は、画面の指示に従って Windows の CD-ROM を挿入してください。
Windows の再起動が表示された場合は、再起動してください。

7　画面の右下にアイコンが表示されたら、クリックして本製品を停止します。

Windows 98 Second Edition の場合はアイコンは表示されません。

ここで本製品を取り外す必要はありません。そのまま手順 8 へお進みください。
取り外してしまった場合は、もう一度接続（手順 5）からやり直してください。

8 **操作パネルの FUNC を押します。**
（PC カメラモード用ドライバのインストール）
⇒しばらく待つと、本製品が PC カメラとして認識され、PC カメラモードで使用するためのドライバがインストールされます。

Windows Me/98 Second Edition をお使いの場合
しばらくして自動で本製品がインストールされた後、使えるようになります。
【マスストレージモード／PC カメラモード】（68 ページ）をご覧ください。

9 画面の指示に従ってインストールします。

画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

本製品は問題なくお使いいただけます

「Windows ロゴテストに合格していません」や「インストールするソフトウェアには Microsoft デジタル署名がありません」と表示されることがあります。弊社にて、本製品は問題なくお使いいただけることを確認しておりますので、［続行（はい）］ボタンをクリックしてください。

❑インストール後の確認方法（マスストレージモード／PC カメラモード）

本製品がパソコンに正しく認識されたか確認する方法を以下に説明します。

1 **本製品をパソコンに接続します。**
お使いになるモードにします。**（68,69 ページ参照）**

2 **・Windows XP/2000 の場合**
（［スタート］）→［マイコンピュータ］（右クリック）→［プロパティ］→［ハードウェア］タブ→［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

・Windows Me/98 Second Edition の場合
［マイコンピュータ］（右クリック）→［プロパティ］→［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

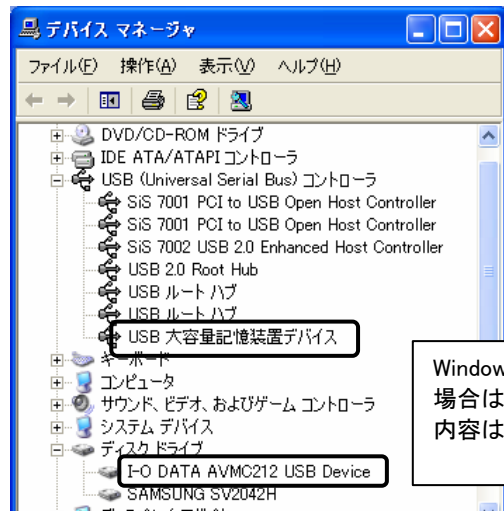
3 ●マスストレージモードで使用する場合

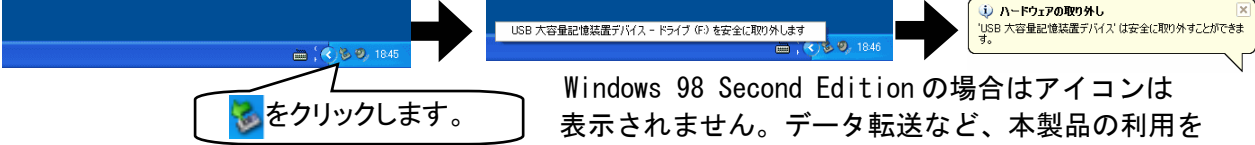
⇒[USB 大容量記憶装置デバイス]と[I-O DATA AVMC212 USB Device]が表示されていることを確認します。

※Windows 98 SE の場合は、ハードディスク コントローラの下に[USB Mass storage Device]とディスクドライブの下に[I-O DATA AVMC212]が表示されていることを確認します。

●PC カメラモードで使用する場合

⇒[イメージングデバイス]が表示されていることを確認し、[イメージングデバイス]をダブルクリックして[AVMC212 Digital Camera]と[AVMC212 Video Capture]が表示されていることを確認します。

マスストレージモードの場合

PC カメラモードの場合

マスストレージモード／PC カメラモード

本製品をパソコンに接続した時の２つのモードについて説明します。

❏ マスストレージモード

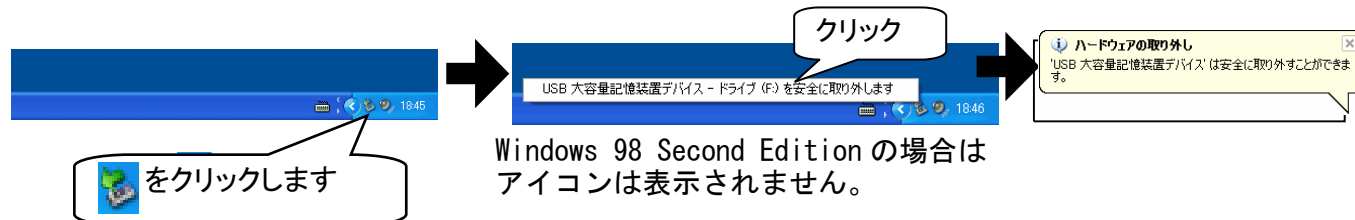
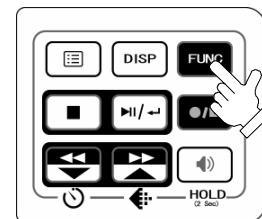
本製品（SD メモリーカード/マルチメディアカード）がリムーバブルディスクとして認識されます。また、添付の MediaSink を使うことができます。
撮影したデータをパソコンに移動するときなどにお使いください。

❏ PC カメラモード（Windows のみ）

PC カメラとして認識されます。
Windows Messenger などの PC カメラとしてお使いください。

❏モードの切り替え方法（マスストレージモード → PC カメラモード）

1 画面の右下にアイコンが表示されていたら「マスストレージモード」です。
クリックして本製品を停止します。

Windows 98 Second Edition の場合は
アイコンは表示されません。

2 操作パネルの FUNC を押します。

以上で「PC カメラモード」に切り替わりました。
「マスストレージモード」に戻す場合は、再度、操作パネルの FUNC を押します。

●USB ケーブルの抜き差し、パソコンの再起動を行うと「マスストレージモード」になりますのでご注意ください。
●誤動作の原因になりますので、本製品を接続したまま、パソコンを再起動しないでください。

MediaSink

MediaSink（メディアシンク）は、本製品で撮影されたムービーや写真を整理するためのソフトウェアです。

❑ MediaSink のインストール方法、操作方法

インストール方法、操作方法はオンラインマニュアルをご覧ください。
サポートソフトメニューから「オンラインマニュアルを見る」をクリックすることで、表示されます。

❑ MediaSink の起動方法

① 本製品をマスストレージモード（68 ページ参照）でパソコンに接続します。
② ［スタート］→［（すべての）プログラム］→［I-O DATA MediaSink］→［MediaSink］の順にクリックします。

Windows Messenger で使う

Windows Messenger を使う方法について説明します。

❏ ここで説明すること

本製品を接続することにより、Windows Messenger で映像を扱うことができます。
※ ここでは、Windows Messenger で映像を扱うための設定についてのみ説明します。
Windows Messenger の操作方法については、それぞれのヘルプをご覧ください。

❏ Windows Messenger で映像を扱う

1 **Windows Messenger を起動します。**
Windows Messenger でメッセージを送ることができる状態にしておいてください。

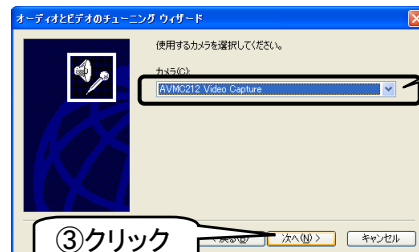
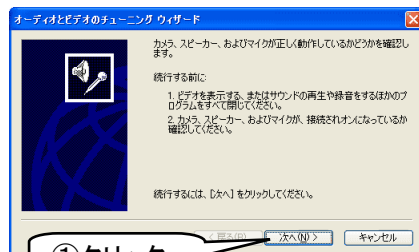
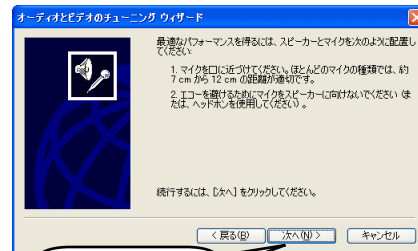
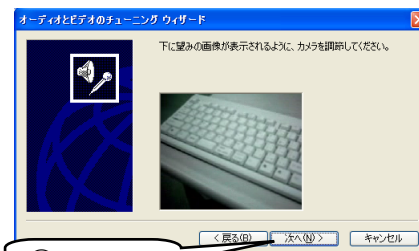
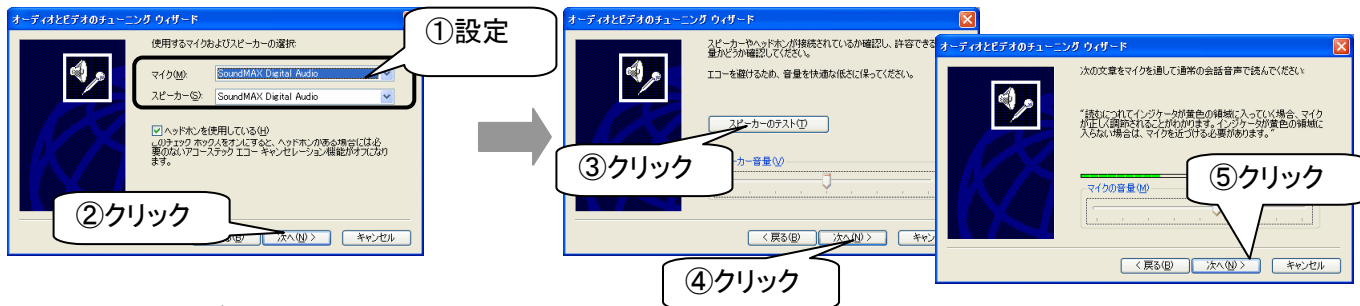
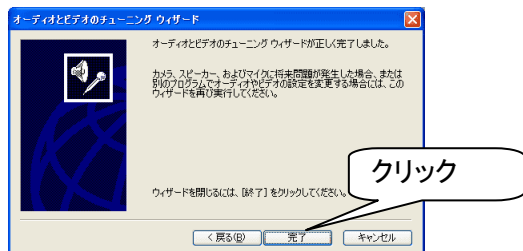
2 **「オーディオとビデオのチューニングウィザード」を起動します。**
［ツール］→［オーディオとビデオのチューニングウィザード］の順にクリックします。
⇒「オーディオとビデオのチューニングウィザード」が起動します。

3 **本製品を PC カメラモードで接続します。**
【マスストレージモード／PC カメラモード】(68 ページ)をご覧ください。

4 ①[次へ]ボタンをクリックします。

②[AVMC212 Video Capture]で接続します。

「カメラ」を［AVMC212 Video Capture］に設定します。

③ [次へ]ボタンをクリックします。

5 カメラの映像を調整し、[次へ]ボタンをクリック、さらに[次へ]ボタンをクリックします。

6 **マイクとスピーカーの設定をし、マイクとスピーカのテストを行います。**
インジケータが黄色になることを確認した後で、［次へ］ボタンをクリックします。

7 **［完了］ボタンをクリックします。**

これで、Windows Messenger の設定は完了です。

Windows Messenger の操作方法については、Windows Messenger のヘルプをご覧ください 弊社では、サポートいたしかねます。

Ulead のソフトウェア

添付されているUlead のソフトウェアについて説明します。

❑ 入っているソフトウェア

- **Ulead VideoStudio 7 SE Basic**
  本製品で録画した映像を編集することができる、DV カメラに対応したデジタルビデオ編集ソフトです。

- **Ulead PhotoImpact 8 SE**
  本製品で撮影した写真を編集することができます。

- **Ulead VD SlideTheater 2 SE**
  本製品で撮影した写真を使ってスライドショーを作り、DVD を作ることができます。撮った写真をパソコンや大画面テレビでお楽しみください。

※使い方については、次ページ【オンラインマニュアルの参照方法】をご覧ください。
ソフトウェアの動作環境についても、オンラインマニュアルをご参照ください。

❑ インストール方法

サポートソフトメニューからそれぞれのインストールを行ってください。

❏オンラインマニュアルの参照方法

● Ulead VideoStudio 7 SE Basic

①パソコンに「MotionPix AVMC212 サポートソフト」を挿入します。
②サポートソフトメニューが表示されます。
③[オンラインマニュアルを見る]をクリックします。
④[VideoStudio7SE]をクリックします。

● Ulead PhotoImpact 8 SE

①パソコンに「MotionPix AVMC212 サポートソフト」を挿入します。
②サポートソフトメニューが表示されます。
③[オンラインマニュアルを見る]をクリックします。
④[PhotoImpact 8SE]をクリックします。

● Ulead DVD SlideTheater 2 SE

①パソコンに「MotionPix AVMC212 サポートソフト」を挿入します。
②サポートソフトメニューが表示されます。
③[オンラインマニュアルを見る]をクリックします。
④[DVD SlideTheater 2SE]をクリックします。

デジカメ 3D エディタ LE

デジカメ画像をディスプレイ上、プリンタ印刷で立体感あふれる 3D 画像に変換します。
個人でインターネットの写真、イラストなどをボタン 1 発で自動立体化できます。また、不適切な 3D 部分も、塗り絵感覚で最適に 3D 編集できるなど、楽しさ無限大のソフトウェアです。
普通では体感できないリアルな巨人やアリの視点も 3D 変換により実体験できます。無料版デジカメ 3D ビューワ LE との連携により個人で作成した 3D 作品をインターネット公開することも可能です。

❏ デジカメ 3D エディタ LE のインストール方法

サポートソフトメニューから「デジカメ 3D エディタ」を起動してください。

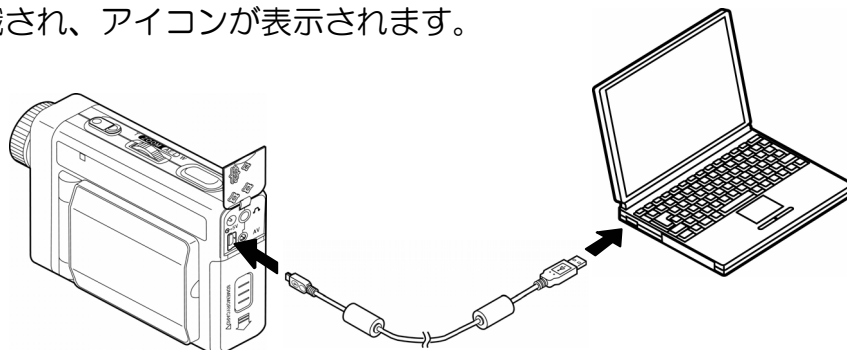
❏ デジカメ 3D エディタ LE の操作方法

オンラインマニュアルをご覧ください。
サポートソフトメニューから「オンラインマニュアルを見る」をクリックすることでも、表示されます。

Macintosh で使用する

Macintosh で本製品を使用する場合、マスストレージモードでのみ使用できます。PC カメラモードでは使用できません。また、ドライバソフトなどのインストールは不要です。
※Macintosh では、動画再生には対応しておりません。

❏ パソコンへ接続する

本製品をパソコンに接続します。
自動的に認識され、アイコンが表示されます。

Mac OS X の場合

必ず、本製品に専用リチウムイオン電池を入れた状態で接続してください。リチウムイオン電池は充分充電してお使いください。残量が少ないと正常に起動しなかったり、途中で電源が切れたりします。

❏取り外すとき

Mac OS 9 の場合

本製品のアイコンをゴミ箱に捨ててから
取り外します。

Mac OS X の場合

Mac OS 9 の場合

困った時には

現象	対処
電源が入らない 電源を入れたのに、液晶画面に何も表示されない	● 電池が入っていることを確認してください。 ● 裏表が逆になっていないか確認してください。 ● 充電してみてください。
ムービー／写真が撮れない	● SD メモリーカードが書き込み禁止になっているときは、SD メモリーカードの書き込み禁止を解除してください。 30 ページ【「参考」撮影できないときは】参照 ● レンズやマイクを指などでふさいでいないか確認してください。
テレビに出力ケーブルをつないだのに、映像が映らない／正しく表示されない／映像がブレる(上下に細かく振動する)	● 出力ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。 ● 本製品を接続したビデオ出力を映すように、テレビの入力切換を設定してください。 ● 本製品のビデオ出力タイプを NTSC にしてください。(57 ページ参照) ● 出力ケーブルを抜いて、本製品の電源を入れ直して再度接続してください。
撮影した動画が再生できない	● 動画を再生するアプリケーションが複数インストールされている場合は、他のアプリケーションを削除してください。 ● Windows 2000/Me/98 Second Edition をお使いの場合は、DirectX 8.1 以上をインストールしてください。 (DirectX 8.1 は添付のサポートソフト CD-ROM 内にも収録されています。) ● Windows Media Player 7.1 以上をお使いください。 ● Macintosh では動画の再生には対応しておりません。 ● 長時間(1 時間以上)撮影したファイルをパソコンで再生する場合、再生までに1分程度かかります。

現象	対処
撮影したムービー／写真が暗い	● 適切な光源のもとで撮影してください。
PC カメラモードで使用中に、USB マウスや USB キーボードが使用できなくなった	● USB マウスや USB キーボードをいったん抜き差ししてください。
パソコンに接続しても認識されない	● USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ● 接続する USB ポートを変えてみてください。USB ハブに接続している場合はパソコン本体の USB ポートに接続してみてください。
USB ハブに接続すると正常に動作しない	● USB ハブの電源は必ず AC アダプタを接続し、コンセントから電源を供給してください。 ● ご利用の環境によっては USB ハブに接続すると正常に動作しない場合があります。その場合はパソコン本体の USB ポートに接続してください。
サスペンド、スタンバイ、スリープから復帰すると正常に動作しない	● ご利用の環境によってはサスペンド、スタンバイ、スリープの機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、本製品の使用時にはそれらのモードを使用しないでください。
撮影枚数が 9999 枚を越えたら液晶画面に表示されなくなった	● 本製品は 9999 枚以上のデータの表示ができません。撮影枚数が 9999 枚に達したら、データをパソコンに保管してください。 メモリーカードの不要なデータを削除してください。
撮影した画像ファイルに、実際の撮影日と異なる不定な日付が記録されている	●日付を合わせてください。
本製品を接続したままパソコンを再起動したら、本製品が認識されなくなった	● 本製品の USB ケーブルを抜き差ししてください。

お問い合わせ

❑ 本製品

本製品に関するお問い合わせは弊社サポートセンターで受け付けています。

1 まず、弊社ホームページをご確認ください。

本書の【困ったときには】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、News」などもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/ ― 製品 Q&A, News など

また、添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/ ― 弊社サポートライブラリ

2 それでも解決できない場合は･･･

住所： 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター

電話： 本社…**076-260-3646** 東京…**03-3254-1036**
※受付時間 9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

FAX： 本社…**076-260-3360** 東京…**03-3254-9055**

インターネット： http://www.iodata.jp/support/

お知らせいただく事項について

1. ご使用の弊社製品名。
2. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用の OS とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態。
（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

❑ Ulead のソフトウェア

添付の「Ulead MediaStudio 7 SE Basic」「Ulead PhotoImpact 8 SE」「Ulead DVD SlideTheater 2 SE」に関するお問い合わせはユーリードシステムズ株式会社で受け付けています。

ユーリードシステムズ株式会社　ユーザーサポート係

住所：〒158-0097　東京都世田谷区用賀4-5-16 TEビル
電話：東京…03-5491-5662
※受付時間　10:00～12:00 13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）
インターネット：http://www.ulead.co.jp/
E-Mail：上記インターネットのサポートページより
お問い合わせください。

修理

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、下記の事項をご確認ください。

- **内部のデータについて**
  - ・検査の際には、メモリカードのデータは全て消去されます。どうぞ、ご了承ください。
    ※ データに関しては、弊社は一切の責任を負いかねます。
    バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。
  - ・弊社では、データの修復は行っておりません。
- **お客様が貼られたシールについて**
  修理の際に、製品ごと取り替える場合があります。その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。
- **修理金額について**
  - ・保証期間中は、無料修理いたします。
    ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
  - ・本製品の落下による破壊、故障は有料修理となりますので予めご了承ください。
  - ・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
    ※ 弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理できない場合があります。
  - ・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復ハガキにて修理金額をご案内いたします。
    修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
    （ご依頼時に FAX 番号をお知らせいただければ、FAX にて連絡させていただきます。）
    修理しないとご判断いただきました場合は、無料で返送いたします。

❏ 修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

- **メモに控え、お手元においてください**
  お送りいただく製品の製品名、シリアル番号（製品に貼付されたシールに記載されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元においてください。
- **これらを用意してください**
  ・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
  ※ 保証期間が終了している場合は、不要です
  ・下の内容を書いたもの
  ー 返送先［住所/氏名/（あれば)FAX 番号］
  ー 日中にご連絡できるお電話番号
  ー ご使用環境（機器構成、OS など）
  ー 故障状況（どうなったか）
- **修理品を梱包してください**
  ・上で用意したものを修理品と一緒に梱包してください
  ・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください
  ※ 無い場合は、厳重に梱包してください
- **修理をご依頼ください**
  ・修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
  ※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される際は、発送時の費用はお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただきます。
  ・紛失などを避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください

送付先
〒920-8513　石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地
アイ・オー・データ第 2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
修理センター　宛

- **修理品の返送**
  ・修理品到着後、通常約 1 週間ほどで弊社より返送できます。
  ※ ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
8) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
9) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
10) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
13) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

AVMC212シリーズ 取扱説明書 2003.10.06 発 行
株式会社アイ·オー·データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地